

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社
 コード番号 8739 URL <http://www.sparx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 阿部 修平
 (氏名) 深見 正敏

上場取引所 JQ

TEL 03-5437-9700

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,735	—	△660	—	△273	—	△809	—
20年3月期第1四半期	8,047	△9.1	1,045	△75.6	1,354	△69.6	501	△78.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	△403.98		—	
20年3月期第1四半期	251.05		243.45	

当第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円			
21年3月期第1四半期	68,521		46,037		62.8	21,367.06
20年3月期	74,056		47,621		60.1	22,334.66

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 43,017百万円 20年3月期 44,499百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	1,000.00	1,000.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあります。このため、当社グループの業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	2,075,680株	20年3月期	2,054,840株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	62,427株	20年3月期	62,424株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	2,003,940株	20年3月期第1四半期	1,998,336株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、上記「3. 平成21年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当金額が確定した時点で速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、昨年度来続いている米国サブプライム問題の余波から欧米金融機関の損失拡大発表が相次いだものの、最悪期は脱したとの観測が広がったことや、外国為替相場においてドル安が一段落したことが好感され、日本株式市場を含めて世界的に株式市場は堅調な展開で始まりました。しかしながら、当第1四半期後半に向けては、米国経済の先行きに対する不透明感が強まったこと、原油価格の上昇が継続していること、6月の定例連邦公開市場委員会(FOMC)において米連邦準備制度理事会(FRB)が金利引き下げを見送ったこと等から、日本株式市場においても新興株式市場を中心に軟調な展開となりました。日経平均株価も6月初旬に14,500円台を回復したものの、当四半期末には再び14,000円台を割り込み13,481.38円で取引を終了しました。

当第1四半期は、株価指数では、日経平均株価が7.6%、TOPIXは8.8%上昇しました。セクター別には水産資源価格の上昇期待から水産・農林業が上昇率トップになった一方で、原油価格高騰を嫌気された空運業が11.5%の下落となりました。

このような環境の下、当社グループの当第1四半期末における運用資産残高は、1兆2,633億円(前期末比0.1%減、前年同月末比31.8%減)となりました。

運用会社別では、スパークス・アセット・マネジメント株式会社及びSPARX International (Hong Kong) Limited(以下、「スパークス・アセット社」)の運用資産残高が7,059億円(同1.4%減、同43.4%減)、Cosmo Investment Management Co., Ltd.(以下、「コスモ社」)の運用資産残高が2,936億円(同0.3%増、同17.9%減)、PMA Capital Management Limited(以下、「PMA社」)の運用資産残高が2,637億円(同3.0%増、同6.5%増)となりました。

この結果、営業収益は残高報酬が前年同期比25.3%減の32億5百万円となり、成功報酬が同68.5%減の11億71百万円、その他収益が同84.6%減の5百万円となりました。また、自己資金投資として保有している営業投資有価証券に関し、647百万円の評価損を営業収益段階で計上いたしました。これらにより、全体では、同53.6%減の37億35百万円となりました。

営業費用に関しましては、残高報酬の減少に伴う販売会社向け支払手数料の減少等を反映し、同49.7%減の6億12百万円となりました。また、一般管理費は人件費の減少等により、同35.0%減の37億83百万円となりました。

この結果、営業損益段階で6億60百万円の損失となりました。経常損益段階では、受取配当金等による営業外収益の増加があったものの、2億73百万円の損失となりました。また、保有有価証券に係る減損損失80百万円、過年度損益修正益110百万円等を特別損益に計上いたしました。

これらの結果、当四半期純損失は8億9百万円となりました。

項目	当第1四半期		前第1四半期		平成20年3月期	
	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)
残高報酬	3,205	19.7	4,292	53.3	15,745	51.5
成功報酬	1,171	97.5	3,716	46.2	12,897	42.2
営業投資有価証券 評価損益	△647	△17.3	—	—	—	—
その他	5	0.1	38	0.5	1,909	6.3
営業収益合計	3,735	100.0	8,047	100.0	30,552	100.0

・残高報酬

現在の報酬料率を基準に各運用手法の特性に基づき顧客との交渉を行っております。

残高報酬料率(ネット・ベース)の推移は以下のとおりです。

区分	当第1四半期	前第1四半期	平成20年3月期
当社グループ残高報酬料率 (ネット・ベース)	0.84%	0.83%	0.83%

(注) 残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料) ÷ 期中平均資産運用残高

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産は、前期末に比べ55億35百万円減少し685億21百万円となりました。主な要因は、未収投資顧問料が13億97百万円、未収入金が29億70百万円、営業投資有価証券が6億48百万円、のれんが6億70百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前期末に比べ39億51百万円減少し、224億83百万円となりました。主な要因は、短期借入金が19億2百万円、未払法人税等が24億1百万円減少した一方で、賞与引当金が7億81百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前期末に比べ15億83百万円減少し、460億37百万円となりました。主な要因は、配当19億92百万円を払い出したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収益の大半は投信投資顧問業に係わる委託者報酬及び投資顧問料収入によって構成されております。通期の見通しにつきましては、当社グループの事業内容が国内外の経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあることから、業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）、並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき、当社グループの主たる事業である投信投資顧問業を営む会社の連結財務諸表に適用される「金融商品取引業に関する内閣府令」（平成19年総理府令第52号）に準拠して作成しております。

②所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	15,929	15,833
有価証券	252	257
営業投資有価証券	5,504	6,153
前払費用	242	236
未収入金	850	3,821
未収委託者報酬	699	574
未収投資顧問料	3,269	4,666
預け金	714	714
繰延税金資産	207	250
その他	665	667
流動資産計	28,336	33,176
固定資産		
有形固定資産	714	650
無形固定資産		
のれん	21,215	21,885
その他	157	173
無形固定資産合計	21,372	22,058
投資その他の資産		
投資有価証券	16,822	16,863
差入保証金	877	633
繰延税金資産	238	516
その他	157	158
投資その他の資産合計	18,096	18,171
固定資産計	40,184	40,880
資産合計	68,521	74,056

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	604	2,506
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払手数料	463	437
その他未払金	934	1,613
未払法人税等	833	3,235
賞与引当金	1,104	323
繰延税金負債	63	201
その他	772	289
流動負債計	6,777	10,607
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	51	165
負ののれん	583	598
その他	70	63
固定負債計	15,705	15,828
特別法上の準備金		
証券取引責任準備金	—	0
金融商品取引責任準備金	0	—
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	22,483	26,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,404	12,144
資本剰余金	14,291	14,030
利益剰余金	18,880	21,685
自己株式	△4,438	△4,438
評価・換算差額等	1,879	1,077
その他有価証券評価差額金	277	40
為替換算調整勘定	1,602	1,037
新株予約権	56	45
少数株主持分	2,963	3,075
純資産合計	46,037	47,621
負債・純資産合計	68,521	74,056

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収益	
委託者報酬	734
投資顧問料	3,641
営業投資有価証券評価損益	△647
その他営業収益	5
営業収益計	3,735
営業費用	612
一般管理費	3,783
営業損失(△)	△660
営業外収益	
受取配当金	132
受取利息	117
負ののれん償却額	38
為替差益	174
雑収入	11
営業外収益計	475
営業外費用	
支払利息	66
雑損失	21
営業外費用計	87
経常損失(△)	△273
特別利益	
投資有価証券売却益	17
過年度損益修正益	110
その他	13
特別利益計	141
特別損失	
投資有価証券評価損	80
過年度損益修正損	19
特別損失計	99
税金等調整前四半期純損失(△)	△231
法人税、住民税及び事業税	360
過年度法人税等	△2
法人税等調整額	102
法人税等合計	460
少数株主利益	118
四半期純損失(△)	△809

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項ありません。

6. その他の情報

運用資産残高の状況

以下の表は、当社グループ（スパークス・アセット社、コスモ社、PMA社）の当期運用資産残高の状況を示したものです。

以下、数値は当社の持分に係らず運用資産残高の100%を記載しておりますが、当社以外の出資者持分については少数株主損益が計上されます。当第1四半期末における当社の持分が100%未満のグループ会社の当社持分は以下のとおりであります。

会社名	当社持分
コスモ社	67.9%
SPARX Value GP, LLC	70.0%

■会社別の内訳

①当第1四半期の月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成20年4月	平成20年5月	平成20年6月
スパークス・アセット社	7,474	7,461	7,059
コスモ社	3,259	3,257	2,936
PMA社	2,605	2,615	2,637
合計	13,339	13,335	12,633

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

②平均運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成20年6月	平成19年6月	平成20年3月
スパークス・アセット社	7,331	12,400	10,160
コスモ社	3,151	3,218	3,512
PMA社	2,619	2,390	2,524
平均運用資産残高	13,102	18,009	16,197

(注) 1. 各期の月末運用資産残高の単純平均であります。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

③成功報酬付期末運用資産残高及び比率の推移

会社名		平成20年6月	平成19年6月	平成20年3月
スパークス・アセット社	残高(億円)	3,339	6,287	3,607
	比率(%)	47.3	50.4	50.4
コスモ社	残高(億円)	2,541	3,071	2,553
	比率(%)	86.5	85.9	87.2
PMA社	残高(億円)	2,009	2,476	1,922
	比率(%)	76.2	100.0	75.1
合計	残高(億円)	7,891	11,835	8,082
	比率(%)	62.5	63.9	63.9

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 営業収益	8,047
II 営業費用	1,217
III 販売費及び一般管理費	5,783
営業利益	1,045
IV 営業外収益	417
V 営業外費用	108
経常利益	1,354
VI 特別利益	202
VII 特別損失	15
税金等調整前四半期純利益	1,540
税金費用	734
少数株主利益	304
四半期純利益	501